

日本ボランティア学会2010白金原っぱ大会イベント Inclusive Architecture Workshop : 広場にダンボールでシェルターをつくる

ファシリテーター

家成俊勝 (dot architects)

水野大二郎 (京都造形大学講師)

岡部太郎 (財団法人たんぽぽの家)

2010/6/12 (土) 13:00~21:00

ワークショップ13時~17時 トーク19時~21時 (途中退出可)

会場 明治学院大学白金キャンパス
本館1101教室

参加費 500円

(高校生以下無料。明治学院大学学生は学生証の提示により免除されます)

主催 日本ボランティア学会2010年年次大会実行委員会
(終了後、交流会あり)

明治学院大学教養教育センター附属研究所研究プロジェクト
「アートを通じた新しい教養教育の探求」

自分たちの居場所をつくる！ 明治学院大学の中庭「ヴォーリス広場」で、500個のダンボールピースを組み合わせて、巨大なシェルターをつくります。

どんなカタチにしたいかは、参加者全員のアイデア次第です。ものづくりの経験がなくても大丈夫。実は、ダンボールピースに秘密があります。秘密は見てのお楽しみ！ 力をあわせてすてきなシェルターを作りましょう！

・ インクルーシブ・アーキテクチャーについて
建築は決して建築家個人に還元できるものではありません。にもかかわらず、建築が建つ場所やプロセスにおけるコミュニティを軽視するあまり、「箱物建築」と呼ばれる空虚な建築が多く存在します。また、建築は多くの場合、高度な産業技術によって成り立っており、建築家と建築物を使う人（設計する人と設計される人）の二元化をもたらしています。私たちはインクルーシブデザイン*の手法を使ってだれもが「つくる」楽しさを共有でき、だれもが主体的に建築行為にかかわることができるような道具と建築素材のデザインにとりこんでいます。

今回の「おおきなシェルター」は、2009年1月~3月にかけて奈良・大阪にて実施したワークショップをもとに開催します。障害のある人や建築の知識や経験のない人が道具や素材作りに関わり、誰も参加できるような建築手法を生み出しました。

* インクルーシブデザイン・・・英国王立芸術大学院大学にあるヘレンハムリン・センターが提唱した、魅力的で革新的なデザインをめざすデザインコンセプトです。これまでデザインのメインターゲットから除外されてきた高齢者や障害のある人などを積極的にデザインプロセスに参加してもらう手法です。日本では財団法人たんぽぽの家が大学やデザイナーと協力しながら普及活動をしています。



日本ボランティア学会

[事務局] 財団法人たんぽぽの家 内
〒630-8044 奈良県奈良市六条西3-25-4
Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501
E-mail: vgakkai@popo.or.jp

#本事業は、東京都共同募金会の配分を受けて実施するものです。